

原発 ゼロ にむかって

2013年4月30日 No.49

<http://www.tokyominiren.gr.jp/>

編集・発行／東京民医連事務局 tel: 03-5978-2741 fax: 03-5978-2865 mail: sien@tokyominiren.gr.jp

健和会、勤医会、アカシア会
共同組織、地域の団体

講演会『地域から取り組もう自然エネルギーの活用を』 ～脱原発・自然エネルギーの普及を～



3. 1 1 東日本大震災と福島原発事故により、住みなれた地域で暮らし続けるためには、エネルギーや環境の問題が重要であることを、多くの人が痛感させられました。

脱原発を実現し、エネルギーの地産地消で地域社会の活性化をめざそうと、4月13日三郷市文化会館にて、宮崎康健和会前理事長や、三郷商工会顧問、三郷市医師会会長をはじめとした18の団体・個人の方の呼びかけで、講演会「地域から取り組もう、自然エネルギーの活用を」が開催されました。冒頭で、宮崎前理事長から、3. 1 1 東日本大震災と原発事故をきっかけに、エネルギーや環境の問題が、住みなれた地域で暮らし続けるために、避けて通れない問題であることなど、講演会開催に至ったあいさつがありました。

講演では、独立行政法人産業技術総合研究所主任研究員の歌川学さんより、省エネの取り組みが重要であること、そして自然エネルギーの普及が、お金の流れや仕事を転換し、地域発展に寄与していく可能性につながるなどが話されました。続いて、NPO 法人環境ネットワーク埼玉の秋元智子事務局長から埼玉県内の太陽光市民共同発電所の取り組みについての報告、みさと健和団地診療所の福田千栄事務長より、自治体が積極的にかかわっている長野県飯田市の取り組みについて実際に見学へ行った経験が報告されました。

最後に今回の講演会を契機に、個人宅や事業所などで、省エネを行いつつ太陽光発電など再生可能な自然エネルギーの普及に努めること、そしてより広く多くの地域住民に自然エネルギーの活用を広めていくことが訴えられました。

三郷市、三郷市教育委員会が後援、290名の方が参加し、83,000円のカンパが寄せられました。

(みさと健和病院組織課 東條哲二)



6・2 原発ゼロをめざす中央集会

主催：原発をなくす全国連絡会

■ 場所：明治公園

■ 第一部：11:00 全国の運動交流を中心においたブース企画

■ 第二部：13:00 原発ゼロの日本の実現、原発再稼働反対をアピールする集会

■ 第三部：14:00 主張をアピールするデモ行進

デモ終了後、首都圏反原発連合主催の「反原発☆国会大包围」に合流